

学校評価結果（令和4年度）

長池昭和幼稚園

I 自己評価

1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子ども達の共通理解を深め、子ども達の成長段階を見極め長期的な視点で保育を行う。

新型コロナウイルスに対応した安全な保育や行事の在り方を考える
保育者の資質の向上に努める

3. 評価項目の達成及び取組状況

保育内容	新型コロナウイルスの発生状況により、都度保育計画の見直しに迫られたが、安全面を考慮し徐々にコロナ禍前の行事や保育内容に近づけていった。
子どもへの共通理解	各保育者間で年度当初に子ども達の共通理解を図りそれぞれの子どもに即した保育について話し合った。また1年間を通じてその都度話し合いの機会を設け、昨年度と比較し子どもの成長に応じた保育を行えるように取り組んだ。
教育者としての資質の向上	職員会議を通じそれぞれの保育について評価し合いそれぞれの保育の改善に取り組んだ。
安全面や施設面での取組み	コロナ禍の中、マスクの着用や消毒の徹底を行い感染予防に努めた。 日々設備や施設の点検を実施し、都度改善を行った。また交通安全指導や避難訓練を行った。

4. 学校自己評価の総合的な評価結果

幼児期の成長度合いは誕生日などによって大きく左右されるため、3年間という長期的な視点で子どもの成長に向き合い、一人一人に寄り添った保育を行うことが出来た。マスクの着用や消毒など感染対策に取り組みながら保育を行っていたが、残念ながら1学期終了間際に園内で新型コロナウイルスの感染が拡大してしまった。

5. 今後の課題

新型コロナウイルスが5類に移行したことを踏まえ、保育内容や行事もコロナ禍以前の体制に徐々に戻していきたいと思う。少子化に拍車がかかる中、ニーズを良く見極め対応する必要がある。

II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して子ども達の様子、日頃の保育の成果を見て頂きました。

その結果、保育について適正に運営されているとともに、令和4年度の自己評価についても適正であると認められました。

今後も子どもたちに寄り添い、一人一人の成長に真摯に向き合い、向上して欲しいとのお声を頂きました。